

和知小学校に入学したピカピカの1年生は、入学式を終えるとすぐに、1年生を迎える会で在校生から歓迎を受けます。その会の中で児童代表が、和知小学校に伝わる3つの宝物を教えてください。



「1つ目は、運動場にあるきんもくせいの木です。暑いときは、木の下の日陰で休むことができます。秋にはオレンジ色の花が咲いて、とてもいい香りがします。」



「2つ目は、けやきの木です。けやきの木は、今から100年以上も前から生えていて、ぼくたちのお父さんやお母さんだけでなく、お祖父ちゃんやお祖母ちゃんの間にもあったそうです。今は枯れかけているので、木のお医者さんに診てもらって、根を踏まれないように見守っています。ぼくたちが大きくなったら、またけやきの木の下で遊ぶことができると思います。」

「3つ目は、パッテローちゃんです。今から90年くらい前に、アメリカから和知小学校へ来ました。その後戦争があつて、パッテローちゃんは壊されそうになりました。でも水谷先生という人が、『人形に罪はない』という気持ちから、パッテローちゃんを隠してくれたおかげで、壊されることもなく今も大切にされています。」

このように子どもたちは、どの子も和知小学校に伝わる3つの宝物と出会い、大切にすることを学んでいます。

さて、和知小学校で学ばれた人には馴染みのあるパッテロー人形ですが、少し紹介させてい

たきます。パッテロー人形は毎日校長室から子どもたちの生活を見守っています。昭和2年に、日米親善を願いアメリカのギューリック氏から贈られた青い目の人形です。全国



に12,739体(岐阜県に235体)贈られたそれらの人形には、一体一体名前がつけられていて、和知小学校のそれは『パッテロー』でした。これらの人形は、その願いも叶わず、太平洋戦争による日米対立の激化の中で壊されたり焼かれたり処分されました。しかし当時和知小学校に勤務されていた水谷先生によって密にかくまわれ、当時の愛らしい姿のまま、再び日の目を見ることとなりました。県下には2~3体しかないという大変貴重なものです。なお、本校にパッテロー人形が大切に保管されているということから、ギューリック氏の孫のギューリック三世から、新しい青い目の人形の『ダイアンちゃん』が平成7年5月に贈られました。現在は正面玄関の入口でお客様をお迎えしています。



このような歴史もあり、6年生の子どもたちは講師の先生を招いて、戦争の恐ろしさや平和の大切さ、人道精神について学びます。また、杉原千畝氏の功績をたどることを通して、自分たちにできることは何かを考える学習を進めています。和知小学校へお立ち寄りの際はぜひ、パッテローちゃん・ダイアンちゃんを見てください。